

訓練は次のように進めよう！

①まずわが身の安全

地震が起きたら、まずシェイクアウト(※)を行いましょ。丈夫なテーブルや机の下にもぐるなど「わが身」を守る行動が大切です。家族や職場でさまざまな状況を想定して訓練をしてください。

※シェイクアウトとは

地震発生時に

- (1)姿勢を低くする
 - (2)頭・体を守る
 - (3)揺れが収まるまでじっとする
- という三つの行動をとることです。シンプルですが、非常に重要な行動です。子どもから大人まで誰でもできる基本的な安全行動とされています。



▲まずは自分の身を守りましょう

②火の始末

地震発生直後、身の安全を確保したら次は火の始末です。電気やガス栓などを止めて、火を出さないための訓練をしてください。

③実際に想定した避難訓練

地震により避難の指示が出た時や、近隣で火災が延焼しはじめた時など避難が必要な場合に備え、家族で避難経路や連絡方法を確認し、一時集合場所や避難場所・避難所へ避難しましょう。

④自主防災組織の訓練に参加

各町内会・自治会の自主防災組織では、避難途中での災害に対応する訓練をはじめ、応急救護訓練や初期消火訓練、また、災害時に支援を要する方(災害時要援護者)への対応などの訓練を行います。こうした訓練に毎年参加し繰り返し体で行動を覚えて、自分自身の防災行動力や、家族や近所の人との助け合いの防災意識を高めましょう。

⑤外出先から帰れないことも

東京都帰宅困難者対策条例の規定により、災害時には混乱を防止する観点から、むやみに移動を開始せず、職場や外出先に一定期間待機することとなります。

また、安全確保後も交通機関の混乱などから、徒歩による帰宅も想定されます。こうした事態に備え、普段から歩いて帰宅する経路を確認しておきましょう。また、職場や外出先にとどまっても安否確認ができるよう、災害用伝言ダイヤルの利用方法や、家族や親戚などへの連絡手段をあらかじめ家族で話し合っておきましょう。

消防署・警察署・市役所OBのボランティアを募集します

ボランティアを募集します

大規模災害時にボランティアとして市の職員と一緒に災害援助を行っているだけでなく、消防署・警察署・市役所のOBの方の募集訓練を行います。ボランティアとして参加していただける方は、防災訓練当日に直接市役所1階ロビーへお越しください。

日時 9月6日(日)午前9時～10時
会場 市役所1階ロビー

※防災訓練当日は避難所への情報伝達訓練などを行っていただく予定です。



羽村市メール配信サービスに登録しよう

メール配信サービスは、災害発生時などに携帯電話やパソコンに、緊急かつ特別な情報をお知らせするサービスです。そのほか、防犯情報やイベント情報などのカテゴリごとに、必要な情報のみを選んで受信することができます。登録は無料です。ただし携帯電話の場合、メールの受信にかかる通信料(パケット通信料)は登録者の負担となります。

携帯電話からの登録手順 ▶▶▶

①メールを送る

方法① あて先に hamura@entry.mail-dpt.jp を入力しメール(タイトル・本文未記入)を送信する

方法② 右のQRコードを読み取り、新規メール作成画面からメール(タイトル・本文未記入)を送信する



▲登録用QRコード

②本登録用URLをクリック

メール送信後すぐに返信される「仮登録受付メール」の本文内にあるURLをクリックし、30分以内に本登録を行う

③受信を希望する項目をチェック

サイトポリシーの確認・同意の後に、受信したい情報(カテゴリ)を選んで登録する

④登録完了

登録完了メールが届けば登録完了
※迷惑メール対策をしている場合は、登録前に、次のアドレスからのメールを受信できるように設定してください。

✉ mail@city.hamura.tokyo.jp

問合せ 広報広聴課広報係 ☎ 339



杏林・羽村コモンズ



つながる地域と大学

〜羽村が杏林大学のフィールド〜

2015



期 日 9月12日(土)・13日(日)
会 場 ゆとろぎレセプションホール
参加費 無料
問合せ 企画政策課企画政策担当 ④ 314

杏林大学地域交流課 ☎ 042-691-8725

羽村市と杏林大学は、相互の資源および研究成果などの交流を促進し、活力ある地域社会の創造、人材育成および両者の発展に資することを目的に、平成22年6月29日に包括的な連携協定を締結しました。

その後、教育・生涯学習、まちづくり、地域の産業・文化の振興、健康・福祉、自然・環境などさまざまな分野で連携した取組みを展開しています。

また、平成25年度に羽村市および杏林大学のキャンパスのある八王子市・三鷹市と杏林大学で、文部科学省の補

助事業である「地(知)の拠点整備事業」に共同応募し、補助採択を受けたことを契機に、連携事業では大きな広がりが生まれています。

そこで、これまでの羽村市と杏林大学の取組みを皆さんに紹介し、今後の連携活動の輪をさらに広げる機会とするとともに、連携事業を継続性のあるもの、学生・教員・地域にとってより意義のあるものとするために、交流・意見交換を行う「杏林・羽村コモンズ」を開催します。

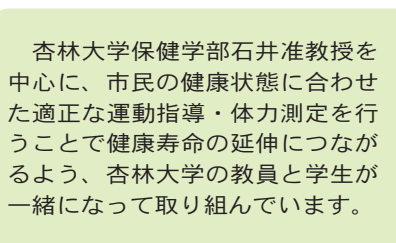
1日目の学生発表では…

杏林大学学生が羽村で行った次の取組みについて発表します。学生たちは活動を通じて何を感じたのでしょうか。学生たちの想いを、ぜひ聞きに来てください。



はむら若者フォーラム

はむら若者フォーラム実行委員会に杏林大学の学生が多数参加し、「はむら未来カフェ」などの企画・運営に参加しました。また、「若者意識調査」の集計・分析を杏林大学総合政策学部木暮准教授にご協力いただきました。



杏林大学保健学部石井准教授を中心に、市民の健康状態に合わせた適正な運動指導・体力測定を行うことで健康寿命の延伸につながるよう、杏林大学の教員と学生と一緒に取り組んでいます。

健康寿命延伸プロジェクト



商店街活性化プロジェクト

羽村東口商店会の21店舗の事業者へのヒアリング調査を行い、学生目線で商店街の活性化策の提案を行いました。また、第1回羽村にぎわい音楽祭に実行委員会委員・ボランティアとして杏林大学学生が参加しました。

開会式 午後1時30分〜1時50分
時間・内容 定員 100人(先着順)

いずれも直接会場へお越しください。

1日目
9月12日(土)
 午後1時30分〜5時
 開会式
 学生発表
 トークセッション
 (連携から共生へ)

発表 午後2時〜3時15分
 大学教育における市との連携についてや、杏林大学学生が羽村での活動を通して感じたことを発表します。
トークセッション (連携から共生へ)
 午後3時20分〜5時
 杏林大学教員・連携事業に関係する市民の代表者・市職員でトークセッションを行います。
コーディネーター 進邦徹夫さん(杏林大学総合政策学部教授)